

第二看護学科 **令和8年度推薦入学試験問題** 専門科目(7の1)

答はすべて解答用紙に記入しなさい。

I 次の文章のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を付けなさい。

- 1 内頸動脈は、ウィリス動脈輪を形成する動脈の1つである。
- 2 僧帽筋は、顔を左右に向けるときに働く筋肉である。
- 3 末梢の興奮を中枢に伝える神経は、遠心性である。
- 4 浮腫は、血中たんぱく質の増加によって起こる。
- 5 狭心症は、心筋が壊死した状態である。
- 6 意識障害の原因の1つに、肝臓のアムモニア処理能力の低下がある。
- 7 子宮頸がんの原因は、ヒトパピローマウイルス(HPV)である。
- 8 ビタミンAは、脂溶性ビタミンである。
- 9 ジギタリス製剤は、心筋の収縮力を弱める作用がある。
- 10 麻薬は、麻薬以外の医薬品(覚醒剤を除く)と区別し、鍵をかけた堅固な設備内に保管する。
- 11 ナイチンゲールは、看護を患者の生命力の消耗を最小限にするよう整えることと定義した。
- 12 退院支援は、多(他)職種とチームで取り組む。
- 13 恐怖とは、明確な対象はなく、漠然とした不快な気分のことである。
- 14 麻痺がある患者の寝衣交換は、患側から脱がせる。
- 15 輸血開始から5分間はベッドサイドを離れず、患者の状態を観察する。
- 16 胸腔穿刺では、穿刺の際は深呼吸をするよう説明する。
- 17 放射線防護の3原則は、時間・距離・遮蔽である。
- 18 日常生活を送るうえで最も苦痛の少ない肢位を基本肢位という。
- 19 レイノー現象のある患者には、四肢の寒冷刺激を避けるよう指導する。
- 20 機能性尿失禁では、骨盤底筋体操は効果的である。
- 21 加齢により運動機能が低下すると、ロコモティブシンドロームになりやすい。
- 22 妊娠初期は、アンビバレントな感情が生じやすい。
- 23 流行性耳下腺炎は、定期予防接種の対象である。
- 24 統合失調症の陰性症状には、幻覚がある。
- 25 心気妄想は、身体的な問題がないにも関わらず、身体疾患に罹患していると訴える妄想である。

II 次の1～25の問いについて、適した答を1つ選びなさい。

1 次のうち、正しいのはどれか。

- (1) 一次止血は、凝固因子が関与する止血機構である。
- (2) 赤血球の寿命は、60日である。
- (3) 白血球の産生は、エリスロポエチンによって調整される。
- (4) 好塩基球は、アレルギー反応に関与する。

2 次の組合せのうち、正しいのはどれか。

- (1) 気管 ————— 単層立方上皮
- (2) 食道 ————— 単層円柱上皮
- (3) 小腸 ————— 重層扁平上皮
- (4) 膀胱 ————— 移行上皮

3 腎臓について、正しいのはどれか。

- (1) アルドステロンは、輸入細動脈壁の細胞から分泌される。
- (2) 腎臓は、後腹膜器官である。
- (3) 尿細管は、血液を濾過する。
- (4) 左腎は、右腎より低い位置にある。

4 バセドウ病のメルゼブルグの三徴に含まれないのはどれか。

- (1) 甲状腺腫大
- (2) 眼球突出
- (3) 中心性肥満
- (4) 頰脈

5 「感染症予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)」による5類感染症はどれか。

- (1) 梅毒
- (2) A型肝炎
- (3) デング熱
- (4) 腸管出血性大腸菌感染

6 副腎皮質ステロイド薬の副作用で、該当しないのはどれか。

- (1) 低血糖
- (2) 易感染
- (3) 骨粗鬆症
- (4) 満月様顔貌

7 保健所について、誤っているのはどれか。

- (1) 職務は、地域保健法に基づいている。
- (2) 設置主体は、国である。
- (3) 医事及び薬事に関する事業を行う。
- (4) 地域における精神保健活動を行う。

8 フィンクの危機モデルで、抑うつを呈する段階はどれか。

- (1) 衝撃の段階
- (2) 防衛的退行の段階
- (3) 承認の段階
- (4) 適応の段階

9 次のうち、三次予防はどれか。

- (1) 健康診断
- (2) 生活習慣の改善
- (3) 職業病対策
- (4) 機能回復訓練

10 ジャパン・コーマ・スケール(JCS, 3-3-9度方式)の評価において、呼びかけで容易に開眼するのはどれか。

- (1) I-1
- (2) I-3
- (3) II-10
- (4) III-100

11 ボディメカニクス原則で、正しいのはどれか。

- (1) てこの原理を利用する。
- (2) 重心の位置を高くする。
- (3) 支持基底面を小さくする。
- (4) 小さな筋群を使う。

12 血圧測定について、正しいのはどれか。

- (1) マンシエットは、上腕の1/3を覆う幅のものを選択する。
- (2) マンシエットは、2本の指が入る程度に巻く。
- (3) 触診法で測定した収縮期血圧値より50mmHg程度高く加圧する。
- (4) 収縮期血圧は、スワンの第2点を読む。

13 褥瘡予防について、誤っているのはどれか。

- (1) 体位変換は、4～5時間ごとに行う。
- (2) 30度の側臥位が推奨されている。
- (3) プレーデンスケールを評価に使用する。
- (4) 発生リスクの高い場合、体圧分散マットレスを用いる。

14 坐薬挿入時の看護について、正しいのはどれか。

- (1) 左側臥位で、挿入する。
- (2) 挿入時は、呼吸を止めるよう説明する。
- (3) 坐薬は指先で温め、溶解しておく。
- (4) 肛門から1～2cmの深さに挿入する。

15 安静療法の意義について、正しい組合せはどれか。

- a エネルギー消費量の増加
- b 心筋の血液量の減少
- c 肝血流量の増加
- d 腎血流量の減少

- (1) aとb (2) aとc (3) bとc (4) cとd

16 咳嗽・喀痰のある患者の看護について、正しいのはどれか。

- (1) 水分を制限する。
- (2) 勢いよく呼吸を数回に分け、痰の喀出を促す。
- (3) 痰の貯留した肺区域が、低くなるような体位をとる。
- (4) 個室であればマスクの着用は必要ないことを説明する。

17 骨髄抑制期にある白血病患者の生活指導について、誤っているのはどれか。

- (1) 口腔ケアは、かたい歯ブラシを使用する。
- (2) 移動時は、ゆっくり立ち上がる。
- (3) 食事は、生ものを避ける。
- (4) 排便時は、怒責をしない。

18 腓骨神経麻痺を予防する看護について、誤っているのはどれか。

- (1) 膝窩を浮かせる。
- (2) 下肢を外旋位に保つ。
- (3) 足関節の背屈が可能か観察する。
- (4) 母趾周囲の感覚の有無を観察する。

19 胃全摘術を受けた患者の食事指導について、正しいのはどれか。

- (1) 1回量を多くする。
- (2) 短時間で摂取する。
- (3) 食後は仰臥位で過ごす。
- (4) 食後は低血糖症状に注意する。

20 老年期の喪失体験について、該当しないのはどれか。

- (1) 社会とのつながり
- (2) 心身の健康
- (3) 経済的基盤
- (4) 英知

21 高齢者の薬物療法について、誤っているのはどれか。

- (1) 薬効が強く現れていないか、観察する。
- (2) 飲み忘れがあった場合、次の服薬時に2回分飲むよう説明する。
- (3) 飲み忘れがないよう、服薬カレンダーを活用する。
- (4) 嚥下機能の低下がある場合、服薬補助ゼリーを利用する。

22 変形性膝関節症患者の看護について、誤っているのはどれか。

- (1) 大腿四頭筋訓練の方法を説明する。
- (2) 和式の生活環境にするように説明する。
- (3) 肥満にならないように説明する。
- (4) 悪化した場合、手術療法の対象になることを説明する。

23 分娩経過について、正しいのはどれか。

- (1) 分娩開始とは、陣痛が30分おきに規則正しく起こる状態をいう。
- (2) 子宮口全開大とは、子宮口が5cmに開大した状態をいう。
- (3) 排臨とは、陣痛発作時には陰裂より児頭の一部が見え、間欠時には後退して見えなくなることをいう。
- (4) 分娩第4期とは、児娩出後2時間のことをいう。

24 授乳・離乳の支援ガイド(2019年改訂版)による離乳食の開始時期はどれか。

- (1) 生後2~3か月頃
- (2) 生後5~6か月頃
- (3) 生後8~9か月頃
- (4) 生後11~12か月頃

25 精神科病院における身体的拘束時の看護で、誤っているのはどれか。

- (1) 自殺企図の危険性が高い場合は、看護師の判断で身体的拘束を開始してよい。
- (2) どのようになれば身体的拘束が解除できるのか説明する。
- (3) 医師の指示のもと、弾性ストッキングの着用を促す。
- (4) 頻回な観察を行う。